

報告事項

2019年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

このことについて、別紙資料に基づき報告します。

令和2年1月20日

保 健 体 育 課

2019年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

1 全国調査の概要

(1) 調査の目的

- ① 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ③ 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

(2) 調査の対象及び内容

① 調査対象者

- ア 小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生全員
- イ 中学校、義務教育学校後期課程及び特別支援学校中学部の2年生全員

② 調査の方式

スポーツ庁が調査対象としている学校における前述①の学年の全児童生徒を対象とした全国的な調査を行う。

③ 調査内容

ア 児童・生徒に対する調査

- ・ 実技に関する調査

[小学校8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび

20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

[中学校8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび

持久走(男子1500m、女子1000m)、20mシャトルラン

50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

(※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択)

- ・ 質問紙調査：運動習慣、生活習慣等

イ 学校に対する調査

- ・ 質問紙調査：子供の体力向上に係る学校の取組等

(3) 調査の実施時期

2019年4月～7月

2 調査学校数、児童生徒数

(1) 全国の調査学校数、児童生徒数

	調査学校数	調査児童生徒数
小学校	19,583校	1,051,571人
中学校	10,292校	963,175人

(2) 愛知県の調査学校数、児童生徒数

	調査学校数	調査児童生徒数
小学校	987校	67,437人
中学校	436校	60,016人

3 実技調査結果 (愛知県の結果は、名古屋市・特別支援学校含む。国立・私立除く。)

(1) 全国と愛知県の体力合計点、種目別結果比較

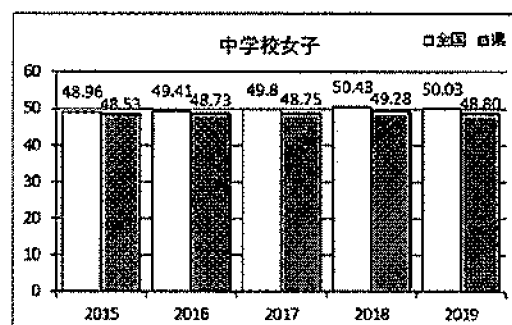
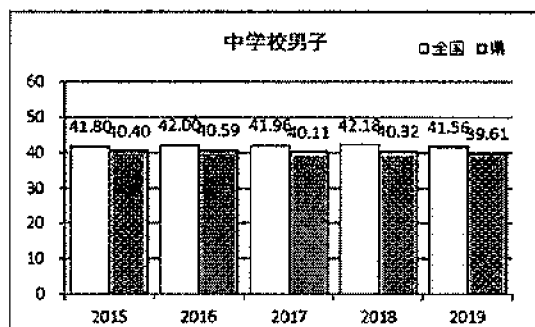
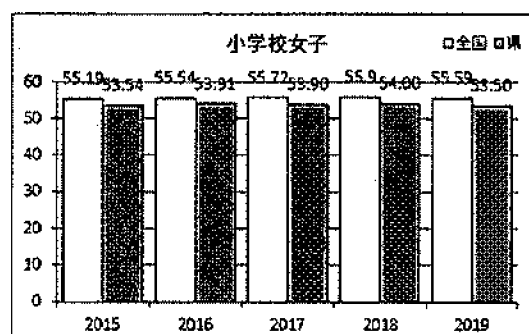
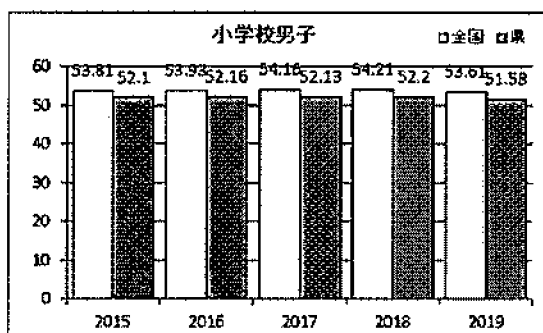
※ 体力合計点：8種目の調査種目の成績を1点から10点に得点化して総和した合計得点(80点満点)

- ・ 本県の体力合計点を全国平均と比較すると、小学校・中学校の男女とも、下回っていた。
- ・ 昨年度の本県平均と比較すると、小学校・中学校の男女とも、やや下回っていた。
- ・ 全国平均を上回っている種目は、中学校女子の反復横とび、ボール投げの2種目であった。

① 本年度・昨年度の体力合計点比較

		2019年度		2018年度	
		全国平均	本県平均(順位)	全国平均	本県平均(順位)
小学校	男	53.61	51.58(47)	54.21	52.20(47)
	女	55.59	53.50(47)	55.90	54.00(46)
中学校	男	41.56	39.61(47)	42.18	40.32(46)
	女	50.03	48.80(44)	50.43	49.28(41)

② 過去5年間の体力合計点比較



③ 種目別結果

2019年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 実技調査結果(種目別平均値)

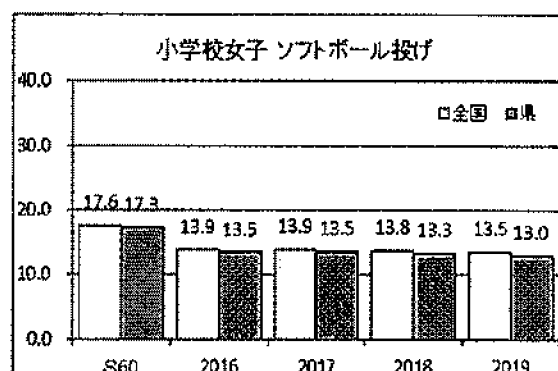
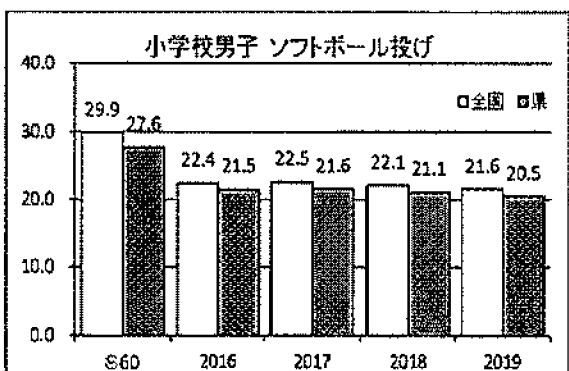
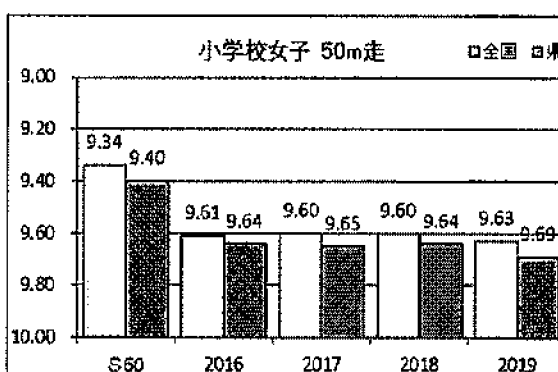
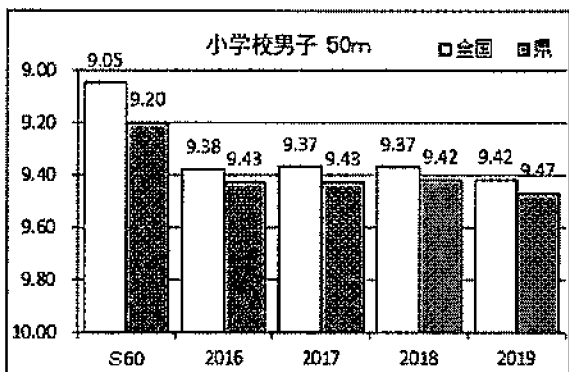
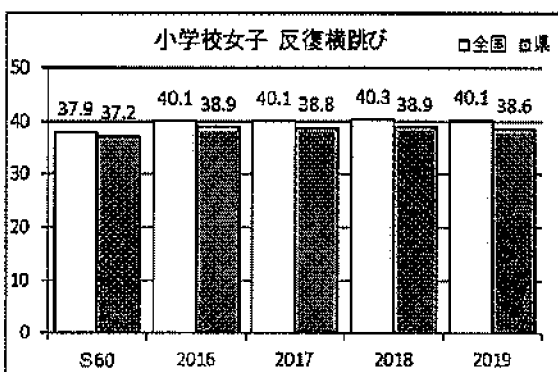
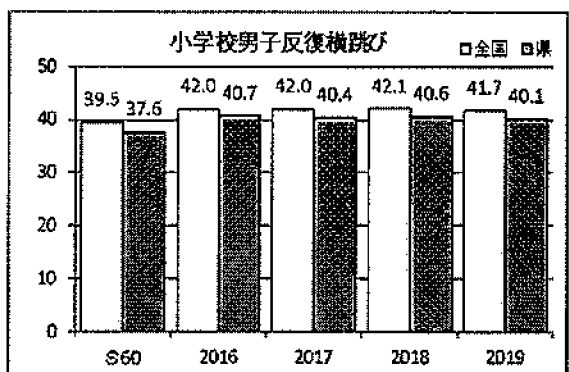
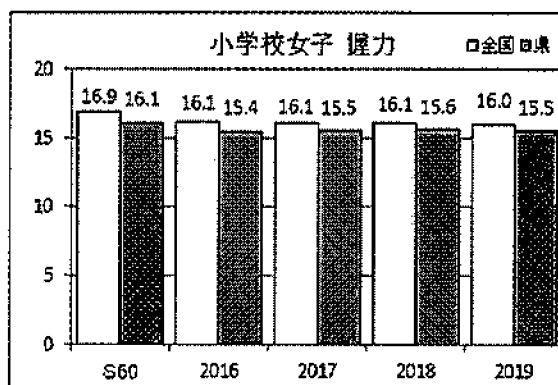
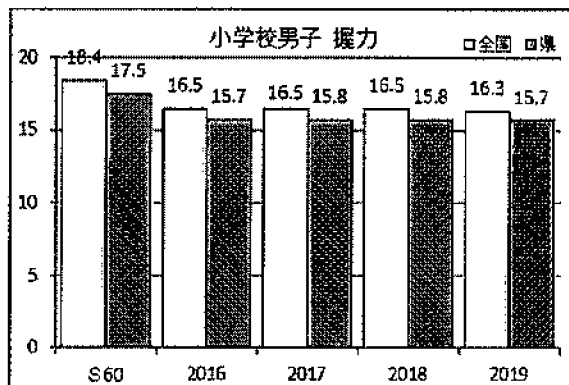
校種		小学校		中学校	
性別		男子	女子	男子	女子
握力(kg)	全 国	16.37	16.09	28.64	23.74
	愛知県	15.70	15.51	27.68	23.25
上体起こし(回)	全 国	19.80	18.95	26.85	23.58
	愛知県	18.32	17.53	26.20	23.20
長座体前屈(cm)	全 国	33.24	37.62	43.43	46.29
	愛知県	32.46	36.87	42.54	45.76
反復横とび(点)	全 国	41.74	40.14	51.87	47.25
	愛知県	40.13	38.60	51.50	47.28
20mシャトルラン(回)	全 国	50.32	40.80	83.13	57.98
	愛知県	44.83	35.87	81.95	57.04
持久走(秒)	全 国			400.03	290.55
	愛知県			406.50	293.76
50m走(秒)	全 国	9.42	9.63	8.02	8.81
	愛知県	9.47	9.69	8.13	8.91
立ち幅とび(cm)	全 国	151.47	145.70	195.02	169.71
	愛知県	150.89	145.69	191.69	168.78
ボール投げ(m)	全 国	21.60	13.59	20.35	12.87
	愛知県	20.58	13.09	19.89	12.91
合計点	全 国	53.61	55.59	41.56	50.03
	愛知県	51.58	53.50	39.61	48.80

愛知県は、名古屋市・特別支援学校含む。国立・私立除く。

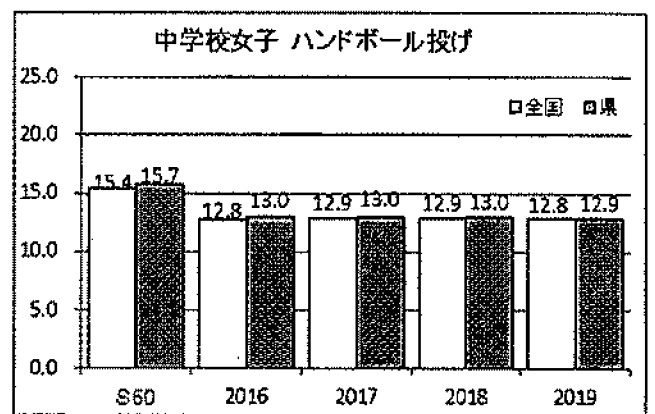
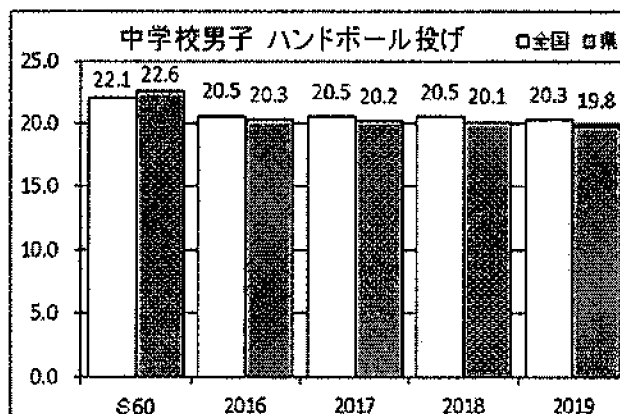
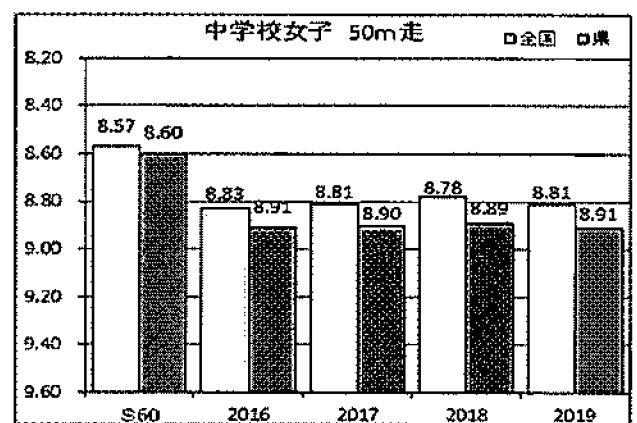
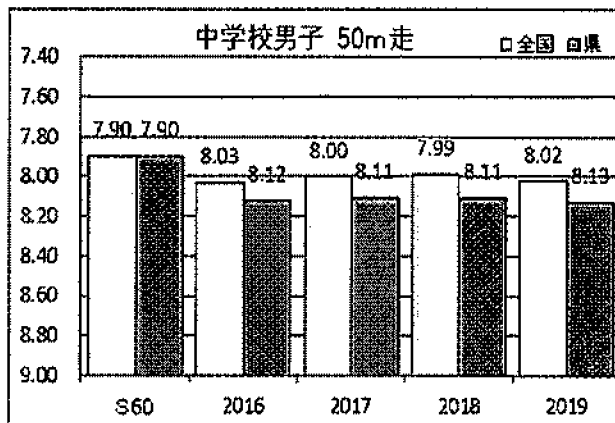
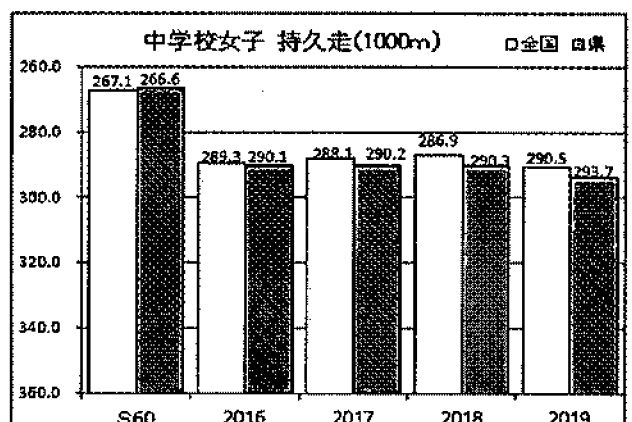
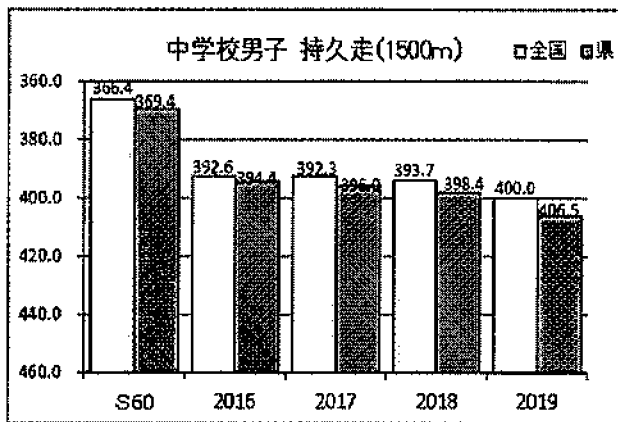
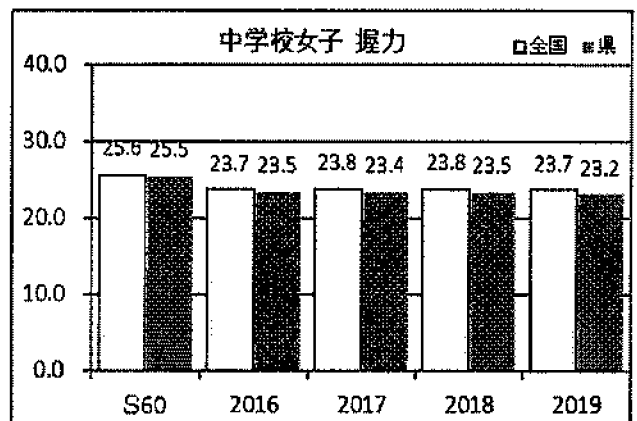
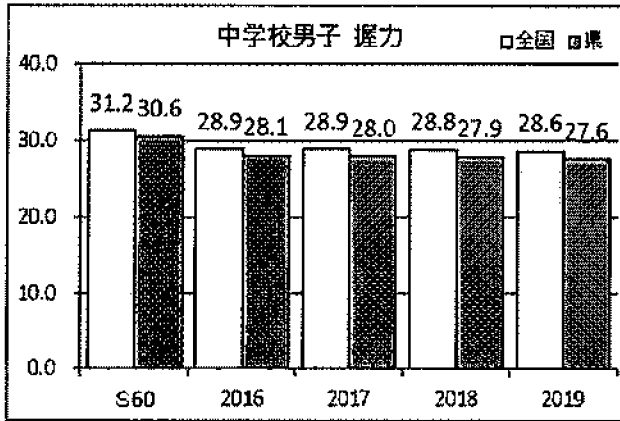
(2) 児童生徒の昭和60年度(1985年度)の体力水準と2016年度から2019年度の比較

- ・ 昭和60年度と比較可能な種目についてみると、全国・本県ともに、小学校の反復横とびは記録が向上しており、それ以外の種目は昭和60年度の記録を下回っている。
- ・ ここ数年の記録は、ほぼ横ばいである。

【小学校】



【中学校】



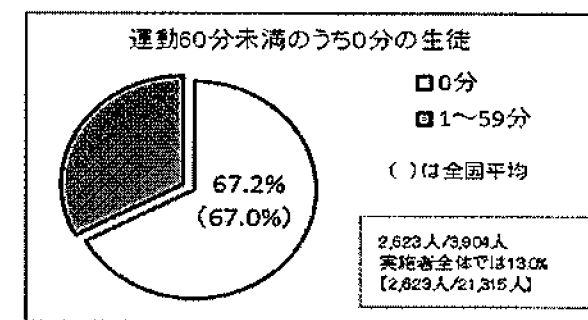
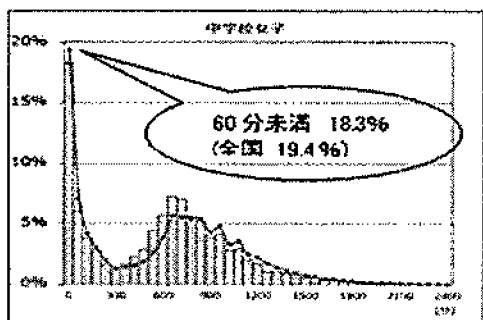
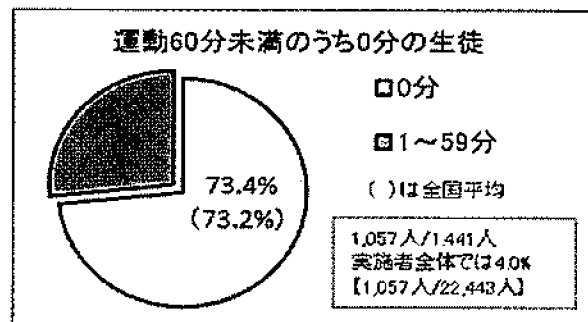
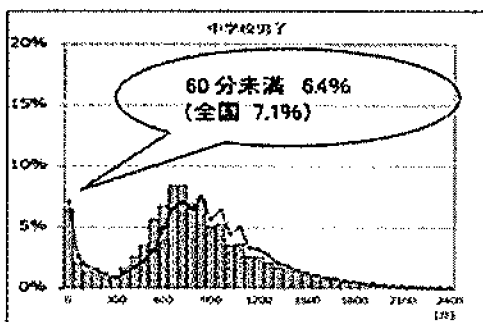
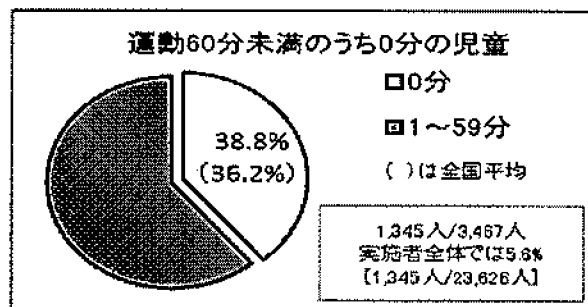
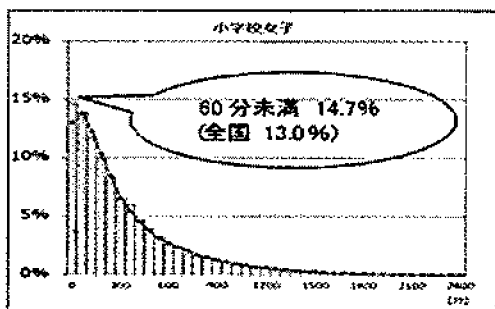
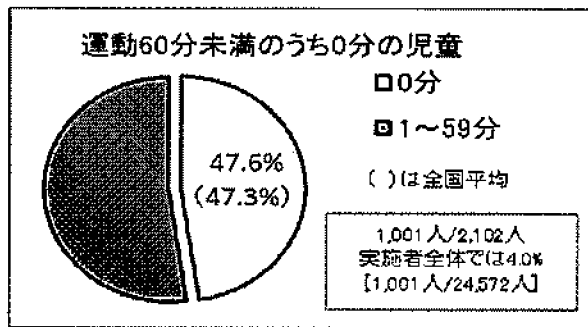
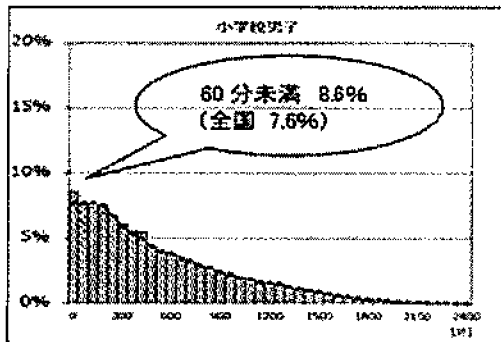
4 愛知県の児童生徒の運動習慣、生活習慣【質問紙調査】

※全国は公立。県は名古屋市・国立・私立を除く。特別支援を含む。

(1) 1週間の総運動時間の状況

- ・ 1週間の総運動時間の分布は、全国と同様で、小学校・中学校の女子に運動をほとんどしない児童生徒が多かった。
- ・ 中学校においては男女ともに、運動する子どもとしない子どもの二極化が見られる。

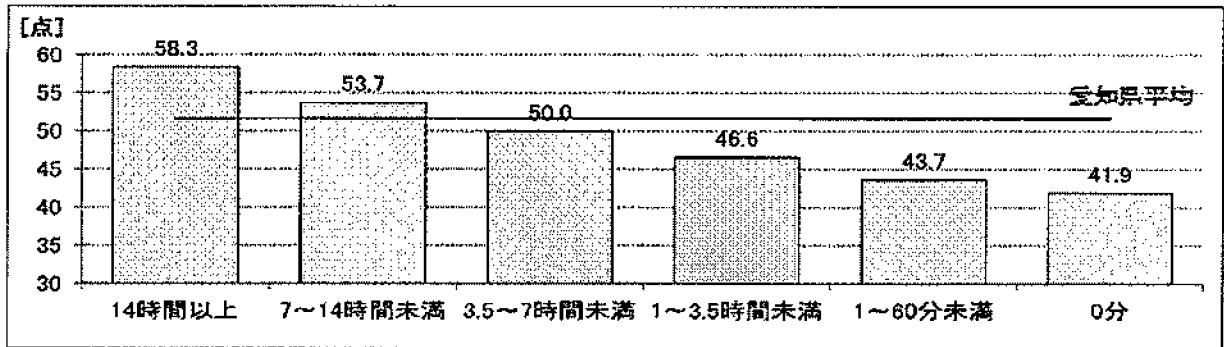
※1週間の総運動時間は、平日の総運動時間（学校の体育・保健体育の授業以外）と土曜日、日曜日の運動時間を合計して算出した時間



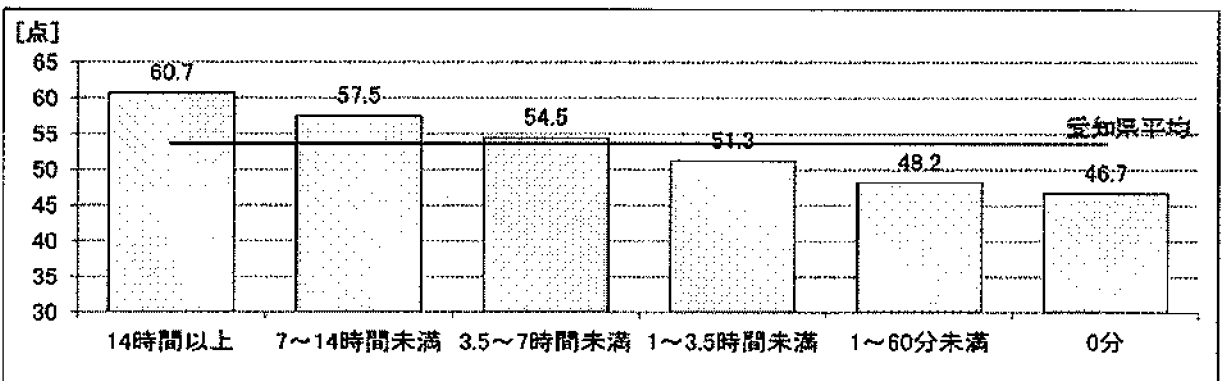
(2) 1週間の総運動時間と体力合計点との関連

- 男女とも、1週間の総運動時間が長い児童生徒の方が、体力合計点が高い傾向がみられた。

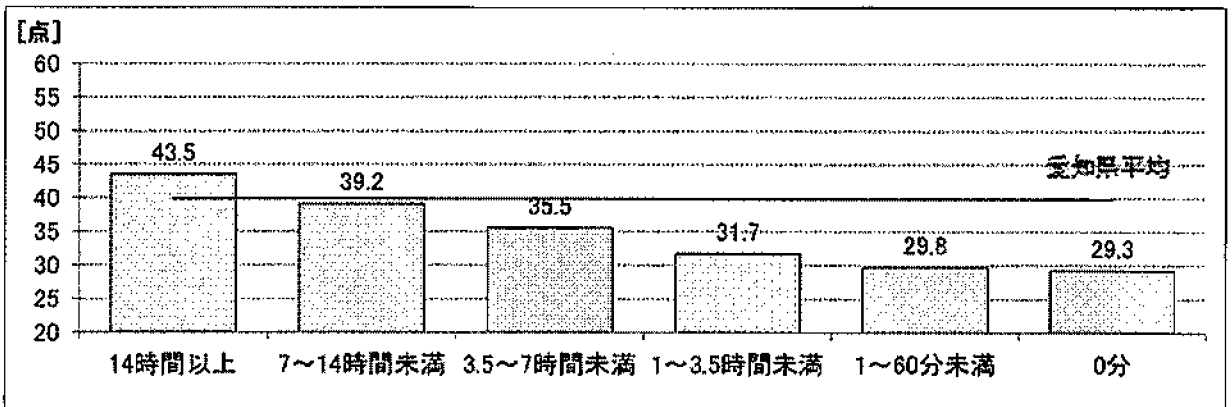
【小学校男子】



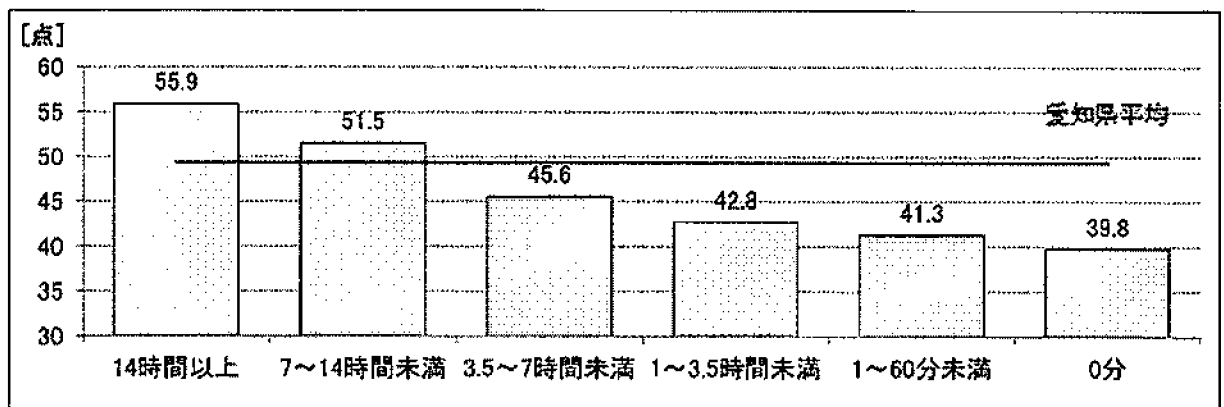
【小学校女子】



【中学校男子】



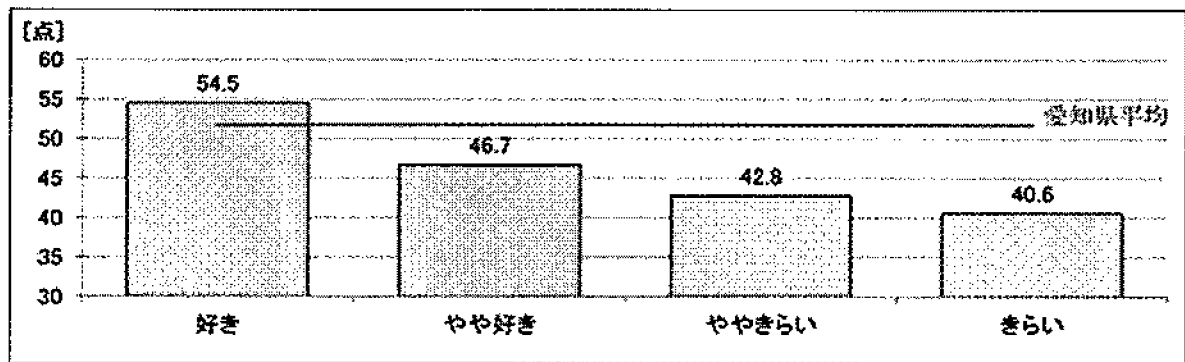
【中学校女子】



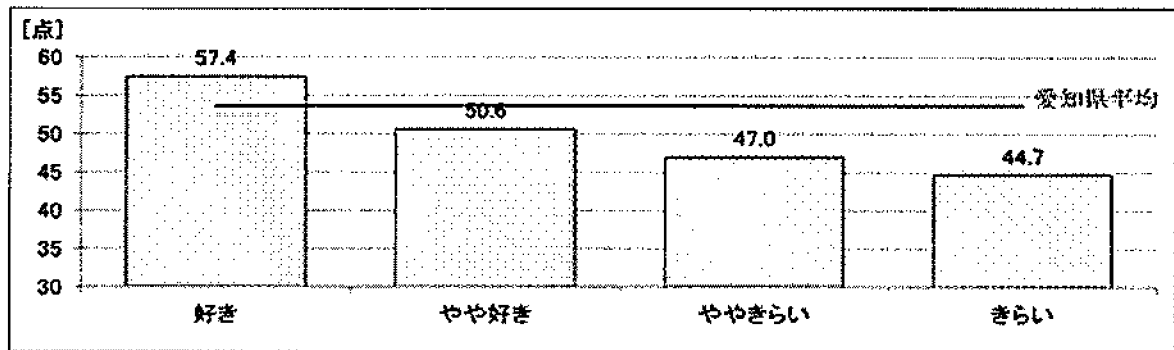
(3) 運動やスポーツの「好き・嫌い」と体力合計点との関係

- 男女とも、運動やスポーツをすることが「好き」の集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高い傾向がみられた。

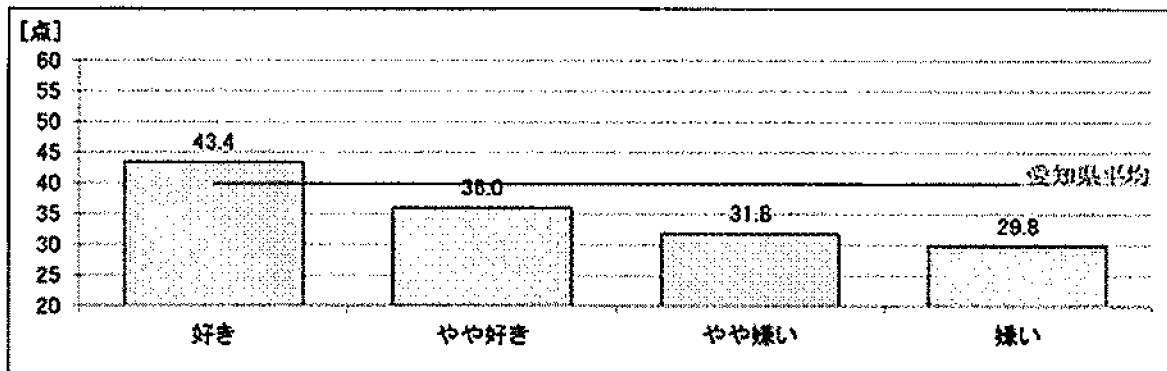
【小学校男子】



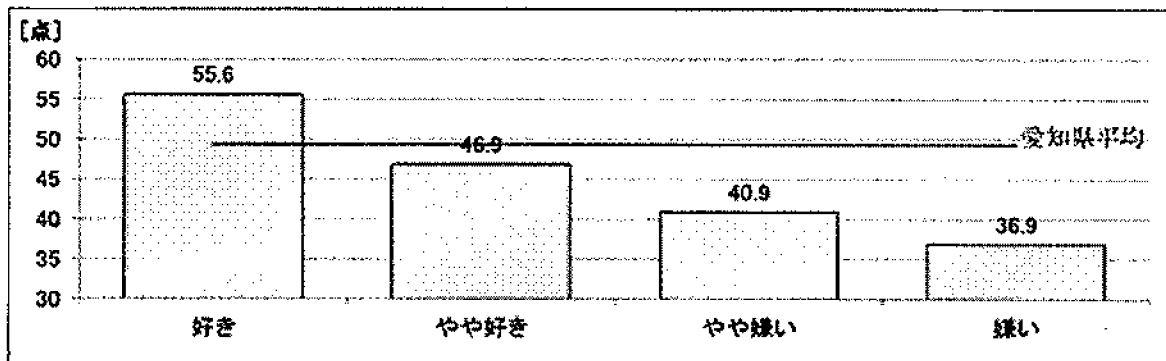
【小学校女子】



【中学校男子】



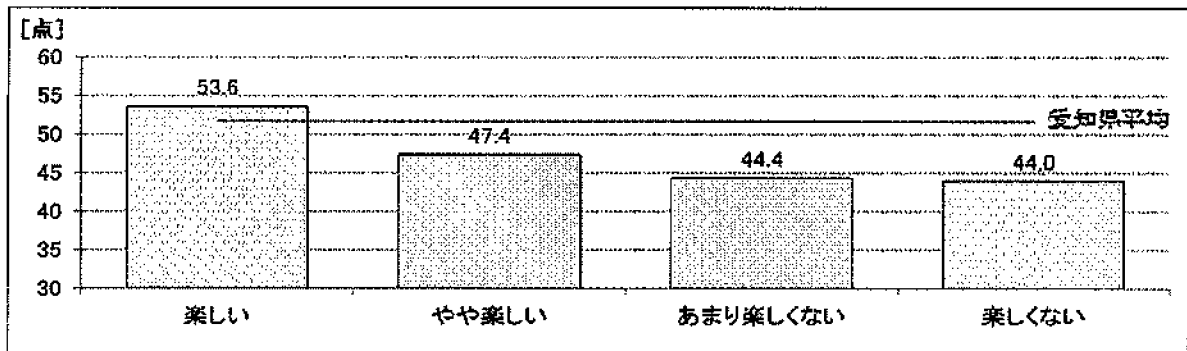
【中学校女子】



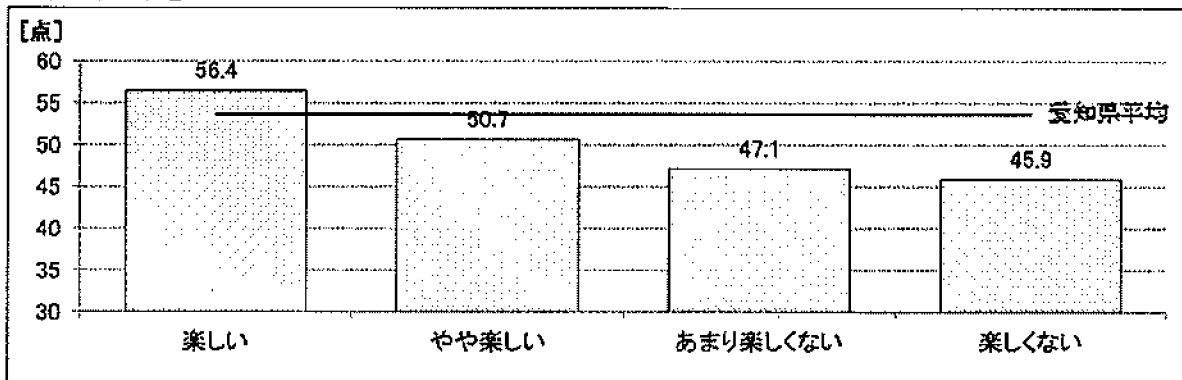
(4) 体育・保健体育の授業の「楽しさ」と体力合計点との関係

- ・ 男女とも、体育・保健体育の授業が「楽しい」集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高い傾向がみられた。

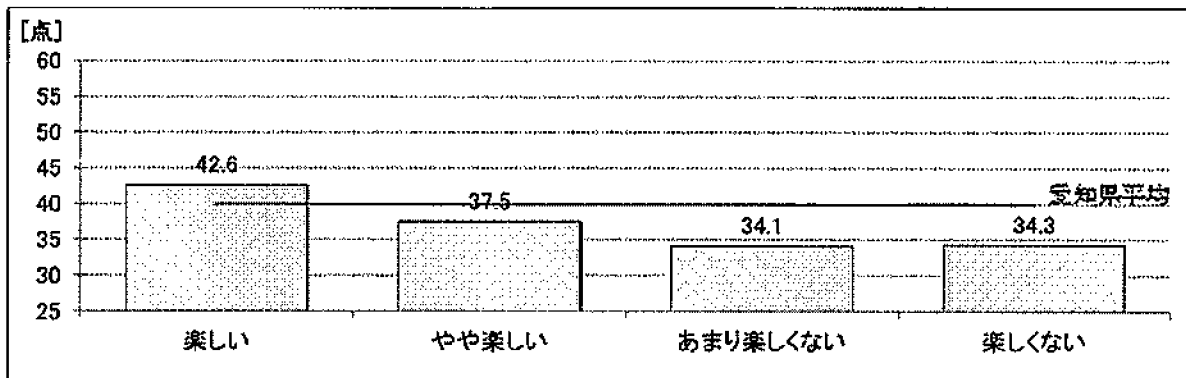
【小学校男子】



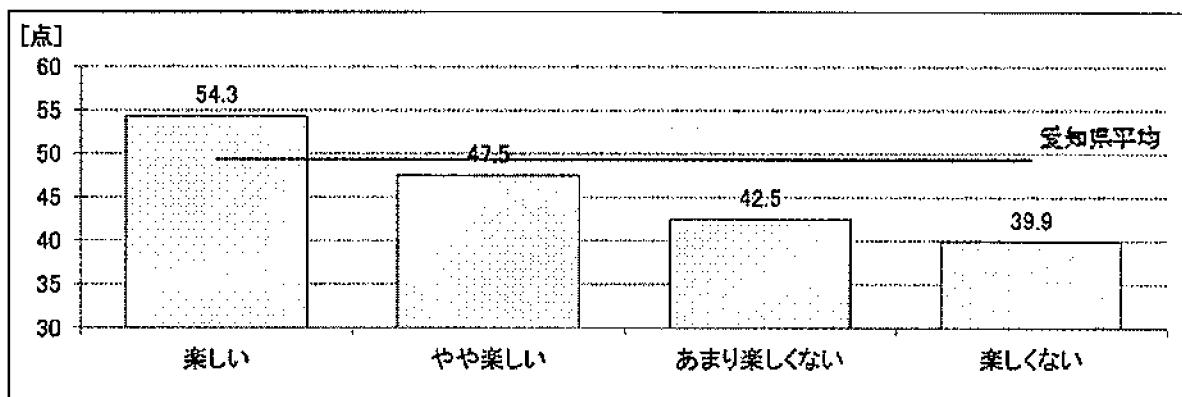
【小学校女子】



【中学校男子】



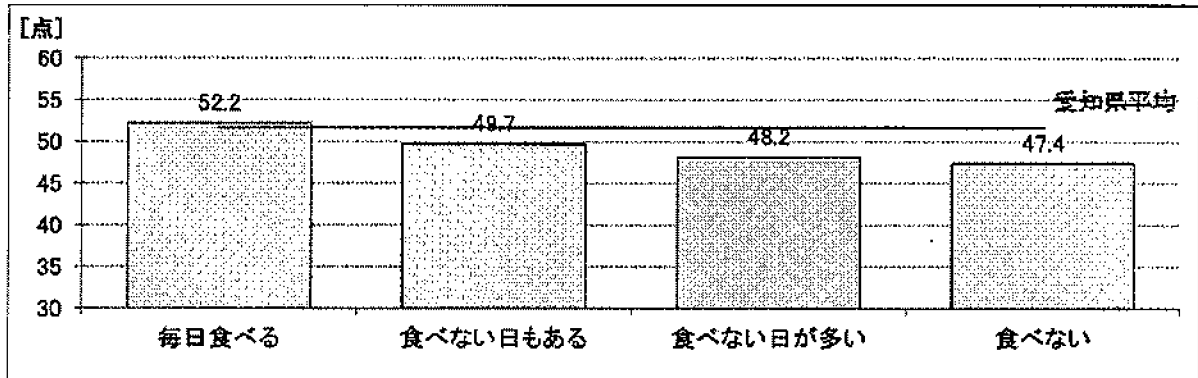
【中学校女子】



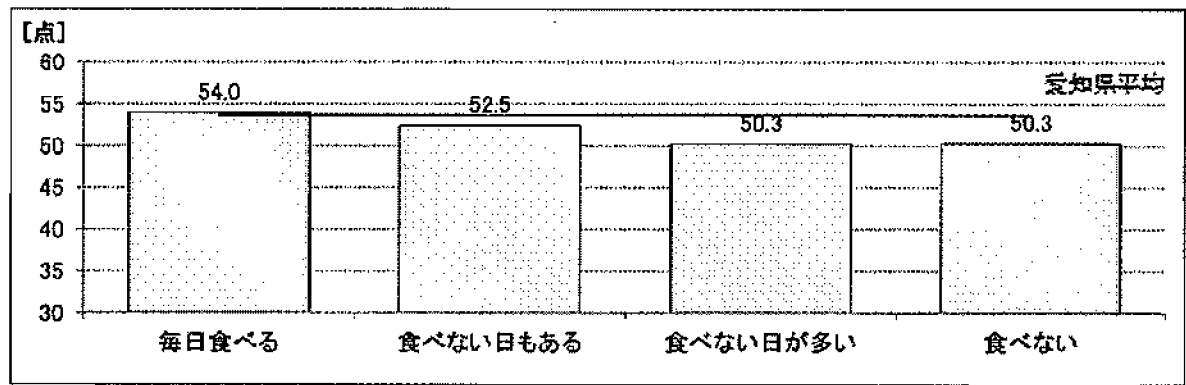
(5) 「朝食を毎日食べるか」と体力合計点との関係

・ 男女とも、「朝食を毎日食べる」集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高い傾向がみられた。

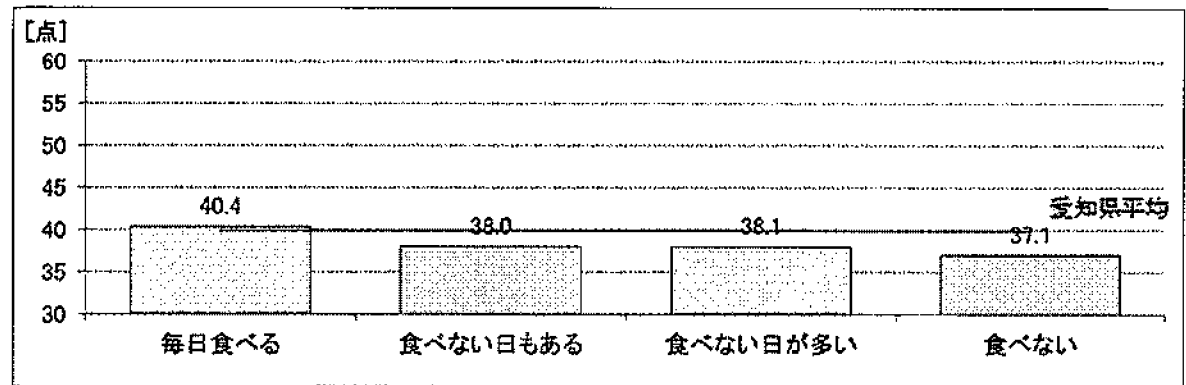
【小学校男子】



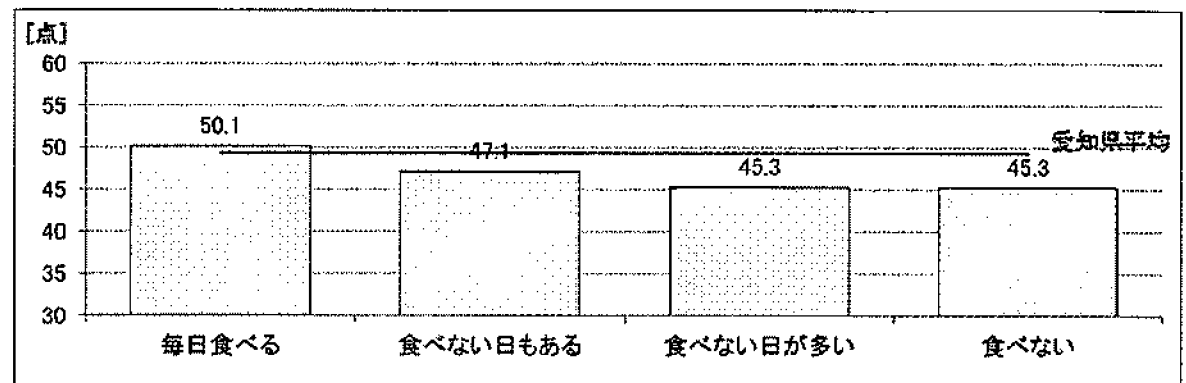
【小学校女子】



【中学校男子】



【中学校女子】



5 今後の取組

今年度中に、他県の取組の情報収集を行いつつ、校長会をはじめとする各会議において、各学校における体力向上に向けた取組の充実を依頼していく。

また、「運動が好き」と答えた児童生徒や「1週間の総運動時間が長い児童生徒」は「体力合計点」が高いため、運動することが好きと感じる児童生徒を育てるとともに運動に親しむ機会を増やし、体力向上を図るため、以下の取組を行う。

- (1) 全ての小学生・中学生を対象とした新たな体力向上運動プログラムの作成をはじめとして、教員、児童生徒及び保護者に向けて、体力の必要感の醸成と普及啓発のムーブメントづくりに、計画的に取り組む。
- (2) オリンピアンなどのトップアスリートを交えて親子で運動する「子どもスポーツふれあい事業」（2015年度から実施）を継続的に開催するなどして、家庭における運動の大切さを広く伝えていく（別紙1参照）。
- (3) 小学校の体育授業において、指導教員の補助ができる能力と資質を有する大学生等を体育授業サポーターとして派遣する「体育授業サポーター派遣事業」（2018年度から国庫事業として実施）を活用して、運動が苦手な児童に対するきめ細かい指導を充実し、児童の体力向上を図る（別紙2参照）。

子どもスポーツふれあい事業

1 目的

体力は健全な社会生活を支える重要な基盤であるが、本県の子どもの体力は、低下傾向に概ね歯止めがかかっているものの、依然として低い状況にある。県においては、愛知県版「子どもの体力向上運動プログラム」を作成し、学校教育の充実に取り組んでいる。

子どもの体力の向上には家庭での取組も必要であることから、親子で参加する事業を実施することにより学校と地域・家庭が連携して子どもの体力向上を支援していく。

2 事業内容

(1) 期日・会場・講師

- ① 西尾張地区 2019年8月25日(日) 江南市KTXアリーナ
講師 NHK Eテレ 4代目ダンスおねえさん いとう まゆ氏
- ② 東尾張地区 2019年8月28日(水) パークアリーナ小牧
講師 マラソン アトランタオリンピック銅メダリスト シドニーオリンピック銀メダリスト アテネオリンピック出場 エリック ワイナイナ氏
- ③ 西三河地区 2019年8月22日(木) 安城市体育館
講師 フィギュアスケート ソチオリンピック出場 村上 佳菜子氏
- ④ 東三河地区 2019年8月23日(金) 豊川市総合体育館
講師 バレーボール ロンドンオリンピック出場 狩野 舞子氏

(2) 講習会内容

- ・アスリートのトークショー
- ・アスリートと一緒に運動体験

(3) 参加人数

8/25 (江南)	276名参加 (保護者 115名、児童 161名)
8/28 (小牧)	269名参加 (保護者 118名、児童 151名)
8/22 (安城)	266名参加 (保護者 115名、児童 151名)
8/23 (豊川)	254名参加 (保護者 118名、児童 136名)

2019年度体育授業サポーター派遣事業

1 事業概要

体育を専攻し、教員を目指す大学生または大学院生を「体育授業サポーター」として委嘱し、県内の公立小学校へ派遣し、運動が苦手な児童に対するスモールステップを踏んだきめ細かい指導を充実させる。

また、外部及び関係団体の有識者による委員会を設置し、事業の在り方を協議し、効果的に事業を推進させる。

2 実施体制

体育授業課題検討委員会を設置する。大学教授等2名と教育事務所指導主事4名を委員として組織し、本事業のねらい、計画運営等について協議し、効果的に事業を推進することができるようにする。

3 事業の具体的内容

(1) 体育授業課題検討委員会

① 第1回体育授業課題検討委員会

事業概要及び計画について、愛知県の体力の課題について

② 第2回体育授業課題検討委員会

事業の実施状況について（サポーターの派遣、サポーター研修会の実施）、事業の成果・課題について（連絡協議会議事録、活用実践報告書）

(2) 体育授業サポーターの派遣事業

① 内 容 体育授業サポーターの派遣

② 派遣者数 愛知県内 公立小学校に各1人 計40人

③ 指導時間 48時間

④ 派遣期間 委嘱日から1月31日（8月を除く）まで

⑤ 対 象 小学校4年生

※ 体育授業サポーターは、教員を目指す大学生または大学院生とし、本県と体育・スポーツに関する協定を結んでいる大学の学生を派遣することを原則とする。

(3) 体育授業サポーター研修会（2回）

① 目 的 体育授業サポーターの資質向上

② 受講対象 体育授業サポーター 計40人

③ 講 師 講義、指導・助言（大学教授等・県教育委員会指導主事）